

3分間でわかる

バイオシミラー

動画紹介ダイジェスト




動画(YouTube)は
こちらからご覧頂けます



監修：医療法人財団 順和会 山王メディカルセンター

院長 山中 寿

 厚生労働省 推薦

後援：日本医師会 日本薬剤師会

1



医療の技術は日々進歩しています。
がん、関節リウマチ、糖尿病など、様々な病気では「バイオ医薬品」と呼ばれる薬剤が使用できるようになり、治療の効果が飛躍的に向上しました。

2



バイオ医薬品の効果は優れていますが、価格は高くなりがちです。

3



それは、「バイオ医薬品」が主にたんぱく質できていて、たんぱく質は生きた細胞で作るため、一般的な医薬品に比べ開発や製造、管理がとても複雑でコストがかかるからです。

4



バイオ医薬品を少しでも安く、安心してお届けする方法として、バイオシミラーがあります。一般的な医薬品の後発品がジェネリック、バイオ医薬品の後続品がバイオシミラーです。

5



製薬会社は厚生労働省が定めた開発の指針に従って、バイオシミラーの化学的な性質や物質の構造、品質、薬としての作用などが、

6



先行バイオ医薬品と同等で同質であることを確認しています。

7

臨床試験



効果や安全性
に違いがないことを確認

更に臨床試験を行って、効果や安全性に違いがないことを確認します。

8



バイオシミラーはこれらの試験結果を基に厳格な審査が行われ、厚生労働省の承認を得た後に販売されます。

9



価格は先行バイオ医薬品より低く設定されます。先行バイオ医薬品と比べ、効果と安全性に違いがなく、低価格なバイオシミラーは、バイオ医薬品の新しい選択肢です。

10



経済的な負担を軽減

既にバイオ医薬品を使用している患者さん、これから使用したい患者さんの経済的負担を軽減できることが期待できます。

11



さらに、バイオシミラーという選択は、年々増加する国民全体の医療費の低減にもつながります。日本の国民皆保険制度を維持していくためにも、バイオシミラーが注目されています。

12

国民皆保険制度を
次の時代に繋げるために



お薬代を負担に感じている患者さんだけでなく、国民皆保険制度を次の時代に繋げるために、バイオシミラーという選択肢を一緒に考えてみましょう。

